

被災内訳 (2021年2月5日現在)

施設区分	被災棟数	被災者数	復旧見込み額 (被災金額)
農業用ハウス等	238	116	4億7200万円
農作業場	29	28	2200万円
畜舎	14	10	3100万円
果樹棚	3	3	6000万円
共同利用施設	8	1	1500万円
合計	292	158	6億円

※果樹棚の被災棟数の欄は3か所、被災者数は1法人、2組合

宮農を再開できる十分な支援を

農業の大雪被害、農業用ハウス中心に被害深刻

1月24日発行の活動レポートでもお知らせしましたように、昨年12月から1月にかけての大雪で農業用ハウスを中心に深刻な被害が広がっています。

上越市が16日に発表した2020年度一般会計補正予算及び説明資料によると、農業施設関連被害は5日時点で農業用ハウスが238棟で被災し、被害予想金額は4億7200万円、果樹棚が3か所、6000万円の被害予想額などとなっています。深刻な被害が明らかになっています。(左表をくわってください)

しかし、上越市が13日に開催した被災農業者への支援制度の説明会で北陸農政局か

ら支援制度の説明を聞いた農業者からは、「2014年の関東甲信豪雪並みの補償を期待したけどがっかり。小規模農家はスズメの涙。小規模農家切り捨てみたいだ」など不安や不満の声が上がっています。

上越市の一般会計補正予算では、農地、農業用施設災害復旧費として3億円が追加され、説明資料においては「被災された農業者の経営意欲を削ぐことなく、早期の営業再開を図るため、農作業施設や農業機械等の復旧に対する支援を緊急に行う」としていますが、倒壊した農業用ハウスなどの撤去やその費用に関する具体的な記述はありません。

日本共産党議員団では、今回の豪雪被害を重視し、関係農業者が元気を出して営農再開できるように総括質疑などで質問していく予定です。

環境省の災害等廃棄物処理事業の活用を

いま被災農業者のなかでは、「倒壊したハウスなどの撤去費用を無料にしてほしい」との声が上がっています。その方法として考えられるひとつの方法は、環境省の災害等廃棄物処理事業を活用することです。この事業は、「災害により発生した廃棄物を生活環境保全上の観点から行う収集(撤去を含む)・運搬・処分」を内容としており、市町村が実施主体となって行うもので、農業者の負担はありません。環境省では「農業用ハウス等の撤去を含む一連の処理も対象」としています。ぜひ活用してほしいものです。



【サクラソウ】サクラソウ科の多年草。元々は野生でしたが、野生のものは見たことがありません。私たちが見ているものは園芸種です。春の早い時期に淡紅色の花を咲かせます。たまに白い花もあります。花言葉は「初恋」「少年時代の希望」「あこがれ」。写真は1月17日に撮影したものです。

新年度予算などを決める定例議会が26日から始まります。今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策や豪雪被害対策など重要課題が目白押しです。補正予算は緊急性がありますので、議会日程では他議案に先行して議決していくことになっています。



(イラストは予算案説明会の様子)

3月議会審議日程 (いずれの会議も午前10時開会)			
日	会議名	場所	備考
2月26日(金)	本会議	議場	提案理由の説明、総括質疑 先行議決議案 審査、採決
3月1日(月)	本会議	議場	
3月2日(火)	本会議	議場	
3月3日(水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月4日(木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月5日(金)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月8日(月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月9日(火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月10日(水)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日(木)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月12日(金)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月15日(月)	一般質問	議場	
3月16日(火)	一般質問	議場	
3月17日(水)	一般質問	議場	
3月18日(木)	一般質問	議場	
3月22日(月)	本会議	議場	議案採決

はしづめ法一の活動レポート

No.1999 2021.2.21

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六四六回

世間は狭い

「あひる」へはしばらく行っていないなあ。Yさんのこの言葉を聞いてびっくりしました。一月下旬、大島区旭地区へ行った時のことです。

食堂・喫茶「あひる」は直江津の石橋にあります。私と同じ吉川区尾神出身のSさんが経営しているお店だということもあって、私もよく出かけます。でも、Yさんの口からその「あひる」という名前が出てくるとは……。

その日、私はYさんに誘われ、お茶をご馳走になっていました。

今年、どこへ行っても一月七日からのどか雪の話になります。道路のあちこちに圧雪があり、路面はデコボコ、しかも道幅が狭くなっている。いったん車を乗り入れたらどうなるかわからない。私はどか雪が降った後、大潟区や五智、春日野、石橋などで見た状況をYさんに話しました。Yさんも通院時の大変さや体の痛みをがまんしてバックホーを使って除雪したこと、軽油が無くなって、業者の方が早く仕事を切り上げたことがあったことなどを語ってくださいました。Yさんから「あひる」の話が出たのはそのときだったと思います。

私が「あひる」に行くようになってまもなく、S子さんからは、お店の近くには吉川区や大島区出身の人が何人もいらつしやることを聞いていました。吉川区出身の人の家はいずれもわが家がお世話になった家です。よく知っていました。ただ大島区出身だという人の家については、私が知っている公務員の方の家だと勝手に思い込んでいました。

実際はそうではありませんでした。大島区出身だという人の家は、なんとYさんのお連れ合い、T子さんの実家だったので。Yさん夫婦は、田麦から石橋に移転したT子さんの実家へ行った時に、何度か「あひる」へ顔を出されていたのです。私

はT子さんに向かって、「なあーんだ、おまんちだったのかね。世間は狭いもんだね」と言いました。

意外な事実に驚いた私でしたが、Yさんは、私が知らなかった集団移転についても語ってくださいました。

「下荒浜だったかな、あそこには田麦のしよが何軒もごそつと集団移転したんだわね」

「そう言えば、Kさんといったかな、二〇年ほど前に私の本を求めてくださったお母さんがおられて、その家に行ったことがあるんです」

集団移転した何軒かの話を聞くなかで、これまで分からないでいたことが一つまたひとつとわかっていきました。

その後、田麦の最近の出来事に話題が移り、地域の大事な人が次々と亡くなったという話になりました。

そのうちの一人、M子さんの話になって、私が「のうの」（母の実家の屋号）で生まれたとき、M子さんが従兄の子守りに来ておられたという話もしました。そこでは、藤尾出身のF子さんが助産師の資格を取って初めてとりあげた赤ちゃんが私だったことなども話しました。すべて母などから聞いた話ですが、Yさんにとっては初めて聞く話だったようです。

話が一区切りしたところで、Yさんは、「おまん、イノシシの肉、食べなるかね」と言い、私がうなずくと、どこかへ行かれました。行き先は台所だったようです。しばらくすると、Yさんは煮たばかりのイノシシの肉を私の前に持ってきてくださいました。肉は骨付きでしたが、驚くほど柔らかく、美味しいものでした。

Yさん宅でお茶をご馳走になったのは初めてでした。面白いことに、話題が次々とかわっても不思議なくらい私とのかかわりが出てきました。本当に世間は狭い。

山本、北代両ぶどう園で豪雪被害調査



14日、橋本正幸前市議と共に「山本ぶどう園」「北代ぶどう園」の豪雪による被害状況を見るとともに、ぶどう畑におられた2人の方と懇談してきました。

現地はまだ2メートルを超える積雪があり、少しでもぶどうの木を救おうと雪掘りの作業をしている人たちが何人もおられました。ぶどう畑では、棚の上で木が横に伸びているのですが、一挙に降った雪の重みでぶどうの木が折れたり裂けたりしています。雪消えとともに、被害は拡大するものと思われます。

山本ぶどう園では、スコップを手にした年配の男性が「12月から雪対策をしてきたが、1月のどか雪には対応できなかった。これまで何度か雪の被害があったが、高齢化がすすんでいるなかで、棚の再建などどこまで出来るか」と語っていました。

また、北代ぶどう園では、昨年からぶどう園の仕事を本格的に始めた青年が、「これだけの被害は20年ぶりではないか。ぶどう畑ではぶどうだけでなく、ワイヤーが切れたり、杭がやられたりしている。雪解けが進むともっと被害がよくわかる」と心配していました。

被害木の片づけ、棚の再建などは、高齢化が進むなかで、極めて困難となっています。行政による大きな支援が必要です。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月10日(水)	2月17日(水)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.037	0.057
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.043	0.057
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.053	0.060